

# 朝霞市の財政

～いっしょにべんきょうしよう～



©むさしのフロントあさか

令和3年12月

朝霞市

# 目次



## 第1章 決算から見る朝霞市の財政状況

1	朝霞市の財政状況	1
2	令和2年度全会計の決算状況	2
3	令和2年度一般会計決算（歳入）	3
4	市税収入の推移	5
5	令和2年度一般会計決算（歳出）	6
6	扶助費の推移	9
7	一般会計収支決算の推移	10
8	新型コロナウイルス感染症による影響	11

## 第2章 市債と基金

1	市債残高の推移	12
2	基金残高と財政調整基金の推移	13

## 第3章 主要な財政指標

1	財政力指数	15
2	経常収支比率	17
3	健全化判断比率	18

## 第4章 予算編成

1	予算編成の流れ	21
2	令和3年度一般会計当初予算（歳入）	22
3	令和3年度一般会計当初予算（歳出）	23

番外編	ぼぼたんのぎもん	24
-----	----------	----

## 資料編

1	歳入・歳出決算額の推移	31
2	実質収支の推移（一般会計）	32
3	市債現在高の推移	33

用語集		34
-----	--	----

# 第1章 決算から見る朝霞市の財政状況



ふわわ〜♪ ぼくは、朝霞市キャラクターの「**ぽぽたん**」だよ♪

ぼくと一緒に朝霞市の財政について勉強するぽ！

難しい言葉が並んでいるね 最後まで勉強してから  
もう一度読んでみよう！（最後に用語集もあるよ！  
下線部分かわからないときは、用語集を見てね！）

## 1 朝霞市の財政状況

朝霞市は都心に近く、交通の利便性に優れるとともに、豊かな自然と景観がある、都会のベッドタウンとしてこれまで発展してきたんだよ。この朝霞ならではの都市と自然のバランスを図り、さらに調和させていくことで、まちが暮らしやすくなると考えているんだ。そこで、平成28年度から第5次朝霞市総合計画で掲げる将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」の実現を目指して、日々の行財政運営に取り組んでいるんだよ。

しかし、近年は新型コロナウイルス感染症の影響などにより厳しい状況が続いていて、今後の動向を注視する必要があるんだよ。

このような状況の中、**歳入**では、国や県などの補助制度を最大限活用しているほか、市税の徴収率向上にも努めているよ。**歳出**では、限られた財源を有効活用するため、政策主導型の**予算編成**をしているよ。事業の取捨選択を進めるとともに、既存事業の見直しによる経費の節減に努めているんだ。

ただ、現状では、**経常収支比率**が96.4%と非常に高い状況で**財政**の硬直化が続き、依然として朝霞市の財政状況は厳しい局面にあるんだよ。そこで、厳しい財政状況においても市民サービスの水準を低下させないために、貯金である**財政調整基金**を活用してきたんだ。平成25年度末に残高がとても少ない状況になったけど、平成26年度以降、市税収入の回復傾向とともに残高を増やしてきたんだ。しかし、令和元年度は残高が減ってしまうなど、依然として厳しい状況が続いているよ。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響や国の税制改正、**地方交付税**を取り巻く状況が不透明で、歳入が大幅に増える見込みを立てることは難しく、歳出面では**社会保障関係経費**の増加が引き続き見込まれるうえ、公共施設の老朽化に伴う更新・改修の必要性も高まっていることから、今後、より一層の計画的かつ効率的な財政運営を推進していく必要があるんだよ。

わかりやすく  
分けているんだね!

## 2 令和2年度全会計の決算状況

市では、市民のみんなが必要とするサービスを提供するため、色々な仕事をしているよ。そこで、お金をどのようなことに使うかについて分かりやすくするため、会計という名前のお財布に分けているんだ。

朝霞市では一般会計（1会計）、特別会計（3会計）、公営企業会計（2会計）の3種類、計6つのお財布に分けて事業を実施しているよ。



### 【決算の総額】

#### 一般会計

歳入 623億4,075万8千円  
歳出 613億2,672万円

福祉、医療、教育、道路や公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計だよ。市民のみんなが納めている市税は、主に一般会計に使われているんだ。一般会計は1つしかないんだよ。

#### 特別会計

歳入 199億 412万8千円  
歳出 191億8,534万2千円

朝霞市の特別会計は、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の3つあるよ。国民健康保険税は国民健康保険加入者のために使う、というふうに、特定の収入を特定の支出に使うため、一般会計とは区別しているよ。

#### 公営企業会計

収益的収支 収入 44億2,288万6千円  
支出 38億6,258万2千円  
資本的収支 収入 10億 743万5千円  
支出 20億1,666万8千円

水道事業、下水道事業の2会計だよ。事業経営に伴う「収益的収支」と施設の改良事業に要する「資本的収支」の2つの収支で構成されているんだ。民間企業と同じように、基本的には事業の収益でまかなわれているよ。水道事業は水道料金、下水道事業は下水道料金で運営しているよ。

入ってくる  
お金のことだほ

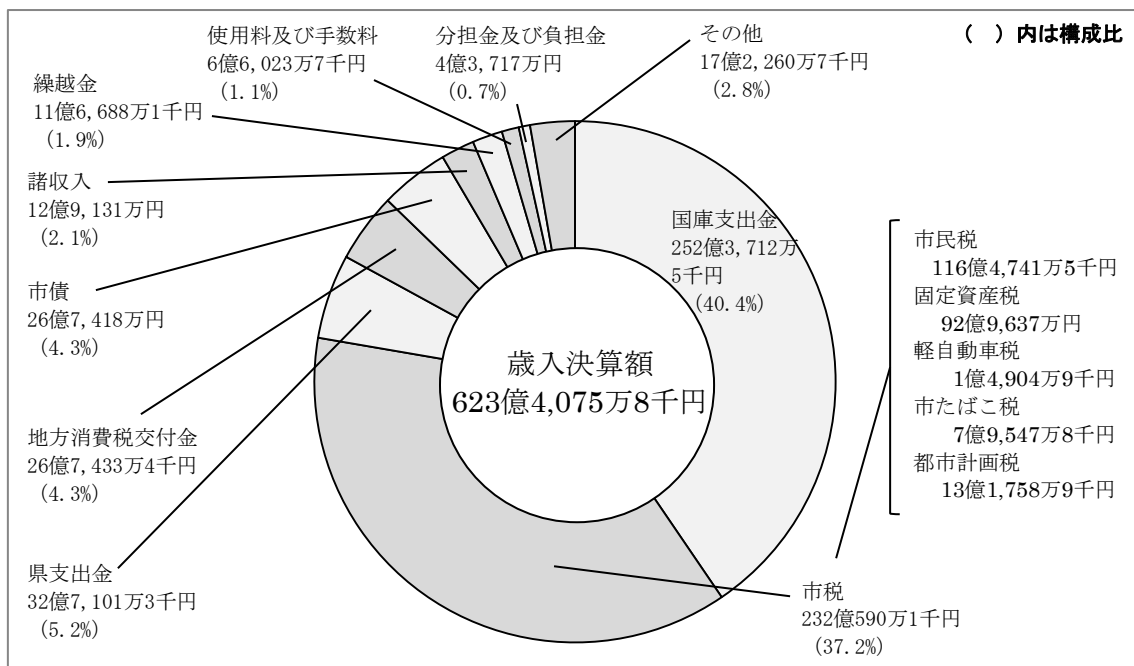
### 3 令和2年度一般会計決算（歳入）

#### 【歳入の状況】

市では1年間に入ってくるお金を「歳入」と呼ぶんだよ。歳入には、下のグラフにあるように、市税だけでなく、国や県からもらうものや、施設の使用料など、色々な種類があるんだ。

歳入決算額とは、1年間の歳入総額のことだよ。前年度より178億3,218万8千円（40.1%）多かったよ。（※）

市民のみんなが納める市税は、前年度より2億2,705万5千円（1.0%）多かったよ。また、前年度と比べて、国からは170億9,500万9千円（210.0%）多く、県からは2億3,450万5千円（7.7%）多くもらったよ。みんなが納めてくれる税金に加えて、国や県からもらうお金などを活用しているんだね。



令和3年3月31日現在人口 14万3,388人

市民1人当たりの市税負担額					16万1,840円
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税	
8万1,230円	6万4,834円	1,039円	5,548円	9,189円	

（※）ほぼたんのぎもん® → P28で解説するよ！  
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったんだ。どんな影響があったのかな？

## 【歳入決算額の前年比較】

(単位：千円・%)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 額	対前年比
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
★市 税	23,205,901	37.2	22,978,846	51.6	227,055	101.0
★市 民 税	11,647,415	18.7	11,476,843	25.8	170,572	101.5
★固 定 資 産 税	9,296,370	14.9	9,251,221	20.8	45,149	100.5
★軽 自 動 車 税	149,049	0.2	138,738	0.3	10,311	107.4
★市 た ば こ 税	795,478	1.3	811,596	1.8	△ 16,118	98.0
★都 市 計 画 税	1,317,589	2.1	1,300,448	2.9	17,141	101.3
地 方 譲 与 税	218,800	0.4	213,647	0.5	5,153	102.4
利 子 割 交 付 金	19,188	0.0	17,918	0.0	1,270	107.1
配 当 割 交 付 金	101,955	0.2	117,442	0.3	△ 15,487	86.8
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	122,545	0.2	71,170	0.2	51,375	172.2
法 人 事 業 税 交 付 金	71,435	0.1	0	0.0	71,435	皆増
地 方 消 費 税 交 付 金	2,674,334	4.3	2,173,348	4.9	500,986	123.1
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	10,196	0.0	10,792	0.0	△ 596	94.5
環 境 性 能 割 交 付 金	29,883	0.0	14,355	0.0	15,528	208.2
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	111,572	0.2	121,142	0.3	△ 9,570	92.1
地 方 特 例 交 付 金	196,950	0.3	451,096	1.0	△ 254,146	43.7
地 方 交 付 税	226,733	0.4	269,761	0.6	△ 43,028	84.0
普 通 交 付 税	84,923	0.2	62,996	0.1	21,927	134.8
特 別 交 付 税	141,810	0.2	206,765	0.5	△ 64,955	68.6
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,017	0.0	12,619	0.0	1,398	111.1
★分 担 金 及 び 負 担 金	437,170	0.7	754,429	1.7	△ 317,259	57.9
★使 用 料 及 び 手 数 料	660,237	1.1	753,034	1.7	△ 92,797	87.7
国 庫 支 出 金	25,237,125	40.4	8,142,116	18.3	17,095,009	310.0
県 支 出 金	3,271,013	5.2	3,036,508	6.8	234,505	107.7
★財 産 収 入	168,898	0.3	122,252	0.3	46,646	138.2
★寄 附 金	138,462	0.2	14,999	0.0	123,463	923.1
★繰 入 金	291,973	0.5	815,212	1.8	△ 523,239	35.8
★繰 越 金	1,166,881	1.9	1,341,168	3.0	△ 174,287	87.0
★諸 収 入	1,291,310	2.1	1,319,925	3.0	△ 28,615	97.8
市 債	2,674,180	4.3	1,709,394	3.9	964,786	156.4
自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0.0	47,397	0.1	△ 47,397	皆減
合 計	62,340,758	100.0	44,508,570	100.0	17,832,188	140.1



※★は自主財源を、それ以外は依存財源を表しているよ。

### 【自主財源と依存財源】

自主財源とは、市税など市が自主的に収入できる財源のことなんだよ。

令和2年度一般会計決算では、歳入総額の44.0%が自主財源なんだ。

一方、依存財源とは、国や県などからもらうものや、借入れた収入などのことだよ。

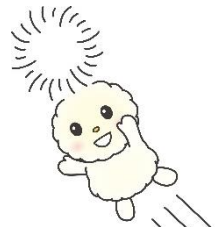


みんなの貴重な税金のおかげで  
朝霞市は成り立っているんだね

## 4 市税収入の推移

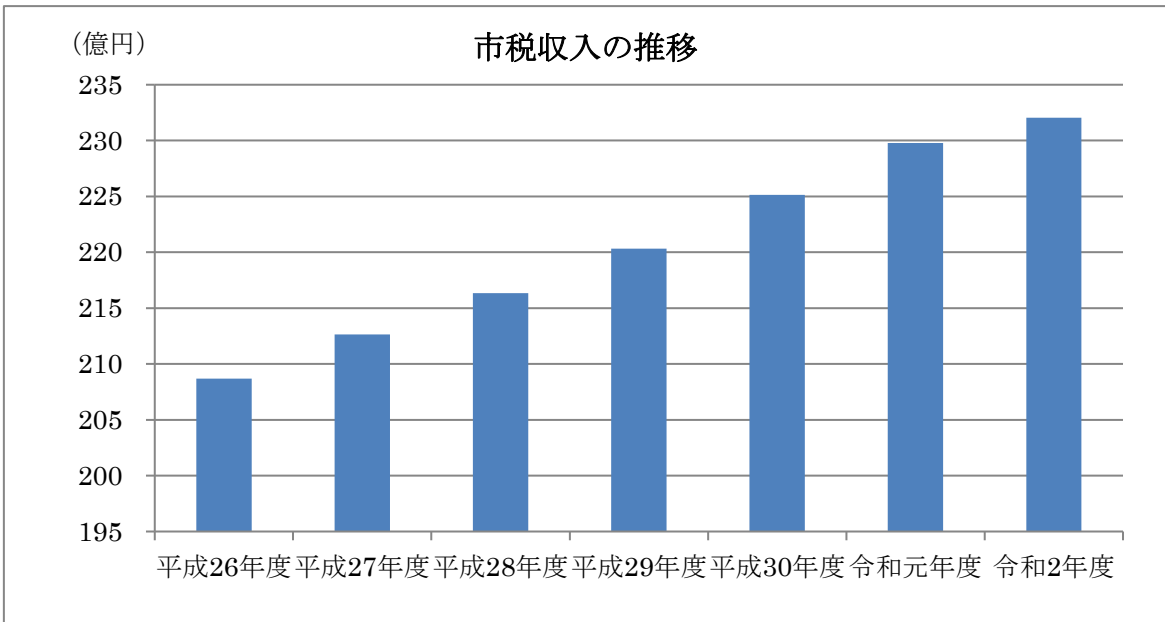
市税収入額の推移は以下の表のとおりだよ。

令和2年度は、個人市民税などが増えた結果、市税収入の合計も  
前年度より、2億2,705万5千円（1.0%）増えたよ。



(単位:千円)

歳入	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民税(個人)	9,189,758	9,419,228	9,725,466	9,930,809	10,278,259	10,555,901	10,883,895
市民税(法人)	910,391	856,917	830,084	869,327	903,929	920,942	763,520
固定資産税	8,597,231	8,785,484	8,851,154	9,026,731	9,111,348	9,251,221	9,296,370
軽自動車税	90,134	94,629	117,904	123,718	128,264	138,738	149,049
市たばこ税	851,848	851,344	843,830	800,359	804,074	811,596	795,478
都市計画税	1,229,813	1,255,927	1,266,318	1,280,067	1,287,363	1,300,448	1,317,589
市税合計	20,869,175	21,263,529	21,634,756	22,031,011	22,513,237	22,978,846	23,205,901



ほぼたんのぎもん① → P24で解説するよ!  
近年、市税収入は毎年増えているんだ。  
市税は大事な財源だから、今後も大事にしていかななくちゃいけないね。  
朝霞市の場合、もしも市税が減ったら、どうなるかわかるかな?

収入が  
減ったら...?





お金を何に使うのかな？  
コロナの影響は  
P28を見てね

## 5 令和2年度一般会計決算（歳出）

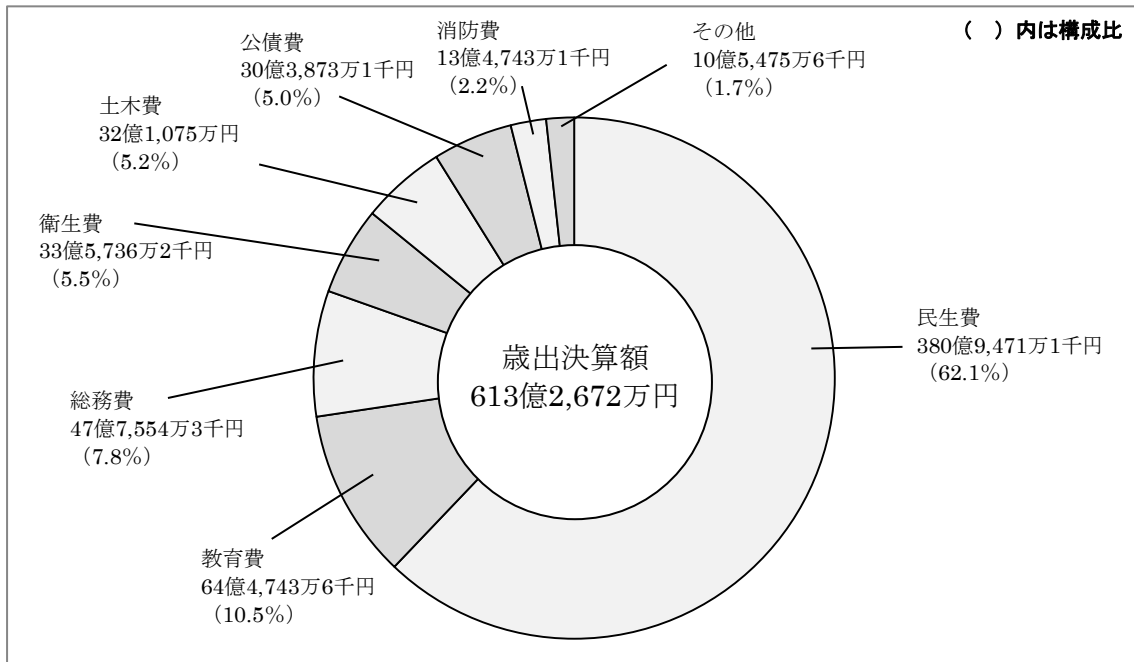
### 【目的別歳出の状況】

市では1年間に使うお金のことを「歳出」と呼ぶんだよ。

下のグラフは、お金を使った「目的別」に分けているんだよ。目的別とは、どんな目的を達成するために使ったお金なのかで歳出を分ける方法のことだよ。歳出では、目的別で表す以外に、「性質別」で表すこともあるんだ。性質別については、P8で説明するよ。

歳出決算額とは、歳出総額のことだよ。前年度より179億8,503万円（41.5%）多かったよ。

民生費は毎年増えている、下のグラフを見ると歳出総額の半分以上を占めているんだ。令和2年度は特別定額給付金などの関係で特に多かったけど、今後も同様な傾向が続くと考えられているよ。



令和3年3月31日現在人口 14万3,388人

市民1人当たりに使われたお金							
							42万7,698円
民生費	教育費	総務費	衛生費	土木費	公債費	消防費	その他
26万5,676円	4万4,965円	3万3,305円	2万3,415円	2万2,392円	2万1,192円	9,397円	7,356円

ぽぽたんのぎもん② → P25で解説するよ！

P3の市民一人当たりの市税負担額より、上の表の市民一人当たりの使われたお金の方が多いのはなんでだろう？

歳出の半分以上を占めている民生費には、具体的にどんなサービスがあって、何で今後も増えていくか、ぽぽたんはわかるかな？



民生費や教育費などが  
増えているね



【目的別歳出決算額の前年比較】

(単位：千円・%)

区分	令和2年度		令和元年度		増減額	対前年比	主な増減理由
	決算額	構成比	決算額	構成比			
議会費	277,618	0.4	272,039	0.6	5,579	102.1	職員人件費(60,854→63,201) 2,347 議員報酬(106,348→114,180) 7,832 議員期末手当(38,772→41,835) 3,063
総務費	4,775,543	7.8	4,846,666	11.2	△71,123	98.5	財政調整基金積立金(562,226→485,811) △76,415 庁舎等管理工事(75,581→1,471) △74,110 参議院議員選挙執行事業 △79,388 市議会議員選挙執行事業 △50,353 国勢調査事業 55,455
民生費	38,094,711	62.1	22,641,729	52.2	15,452,982	168.3	介護給付・訓練等給付費負担金(1,848,628→2,451,002) 602,374 特別定額金給付事業 14,324,504 子どものための教育・保育給付負担金(3,599,637→3,866,755) 267,118 幼稚園利用料等補助金(312,467→633,689) 321,222
衛生費	3,357,362	5.5	2,970,837	6.9	386,525	113.0	医療機関等支援金 44,250 特別出産給付金支給事業 83,390 各種個別予防接種委託料(410,941→482,929) 71,988 朝霞和光資源循環組合負担金 33,686 水道事業会計補助金 121,100
労働費	1,683	0.0	1,329	0.0	354	126.6	労働・社会保険相談業務委託料(135→528) 393
農林水産業費	64,955	0.1	76,625	0.2	△11,670	84.8	市民農園整備工事 △6,165 農業近代化設備事業補助金(971→2,238) 1,267 埋設物調査委託料 △4,015
商工費	710,483	1.2	332,280	0.8	378,203	213.8	中小・小規模企業者支援金 270,800 商工会支援事業 プレミアム商品券事業費補助金 53,200 産業文化センター施設改修工事 144,859
土木費	3,210,750	5.2	3,208,881	7.4	1,869	100.1	観音通線整備事業 街路用地購入費 185,579 駅東通線整備事業 街路用地購入費 187,085 下水道事業会計負担金 383,104 下水道事業特別会計繰出金 △295,898
消防費	1,347,431	2.2	1,339,950	3.1	7,481	100.6	朝霞地区一部事務組合消防負担金(1,250,891→1,268,185) 17,294 団員費用弁償(8,490→4,659) △3,831
教育費	6,447,436	10.5	4,596,626	10.6	1,850,810	140.3	小学校コンピュータ整備事業 教材教具購入費 435,977 中学校コンピュータ整備事業 教材教具購入費 201,127 第八小学校自校給食施設等整備事業(286,218→836,497) 550,279
公債費	3,038,731	5.0	3,054,658	7.0	△15,927	99.5	地方債元金(2,872,455→2,888,529) 16,074 地方債利子(182,203→150,202) △32,001
諸支出金	17	0.0	70	0.0	△53	24.3	土地開発基金繰出金(70→17) △53
合計	61,326,720	100.0	43,341,690	100.0	17,985,030	141.5	

議会費…議会の活動のための経費

総務費…徴税・戸籍・選挙・統計などのための経費

民生費…福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するための経費

衛生費…公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費

労働費…労働者を支援する各種事業のための経費

農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費

商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興などのための経費

土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画などのための経費

消防費…埼玉県南西部消防本部の運営や、消防団の活動などのための経費

教育費…学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費

公債費…市が借り入れた市債(借金)の元金、利子の償還(返済)費

色々なことにお金  
が必要なんだね

【性質別歳出決算額の推移】

今度は、一般会計決算を「性質別」に見てみよう。  
性質別とは、「給与として払った」、「工事のために使った」など、  
その支払いの性質によって歳出を分ける方法のことだよ。



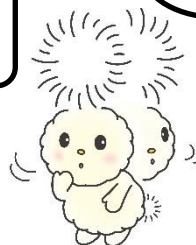
(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費	6,618,590	6,750,271	6,863,347	6,923,182	6,971,858	7,059,360	7,255,457
(うち職員給)	4,092,329	4,163,143	4,313,749	4,340,944	4,412,530	4,536,645	4,609,222
扶助費	10,457,736	11,215,830	12,026,862	12,869,579	13,205,774	14,170,207	14,902,154
公債費	3,149,441	2,991,274	2,981,619	2,974,155	2,990,362	3,049,466	3,038,731
物件費	7,147,651	7,300,485	7,435,267	7,586,540	7,852,539	7,668,481	8,286,960
維持補修費	371,546	326,616	361,669	330,649	339,148	408,901	413,292
補助費等	3,126,219	3,107,173	2,751,172	2,879,412	3,058,472	3,344,996	19,433,938
積立金	659,328	857,300	518,761	538,078	709,015	570,449	488,667
貸付金	119,530	112,440	102,844	96,658	87,759	78,229	66,802
繰出金	3,383,824	3,583,784	3,508,404	3,479,823	3,371,037	3,578,171	3,369,980
普通建設事業費	1,650,754	1,779,821	2,645,543	2,703,016	3,097,981	3,413,430	4,070,739
合計	36,684,619	38,024,994	39,195,488	40,381,092	41,683,945	43,341,690	61,326,720

- 人件費…市長・市職員の給与、市議会議員の報酬などの経費
- 扶助費…生活保護や児童福祉、障害者福祉などの社会保障に要する経費
- 公債費…地方債の元金の返済や利子の支払いにかかる経費
- 物件費…施設の光熱水費や消耗品、備品購入費、各種委託料などに要する経費
- 維持補修費…施設の修繕料などのために要する経費
- 補助費等…各種団体に対する補助金や講師への謝礼などに要する経費
- 積立金…財政調整基金などの基金に積み立てるための経費
- 貸付金…入学準備金や奨学金などの貸付事業にかかる経費
- 繰出金…特別会計に支出するための経費
- 普通建設事業費…道路、学校などの施設の建設事業(工事費)などに要する経費

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響で補助費等が最も増えているよ。P28も見てね。  
ここ数年を見ると、扶助費の増加が著しいね。  
扶助費については、次のページで説明するよ。

扶助費(ふじょひ)  
ってなんだろう?



扶助費は、生活を  
支えるお金なんだね

## 6 扶助費の推移

扶助費とは、生活に困っている方や子育てをしている方、障害のある方や高齢の方などの生活を支えるためのお金のことだよ。

扶助費はみんなの生活を支えるお金だから、とっても大切なんだよ。

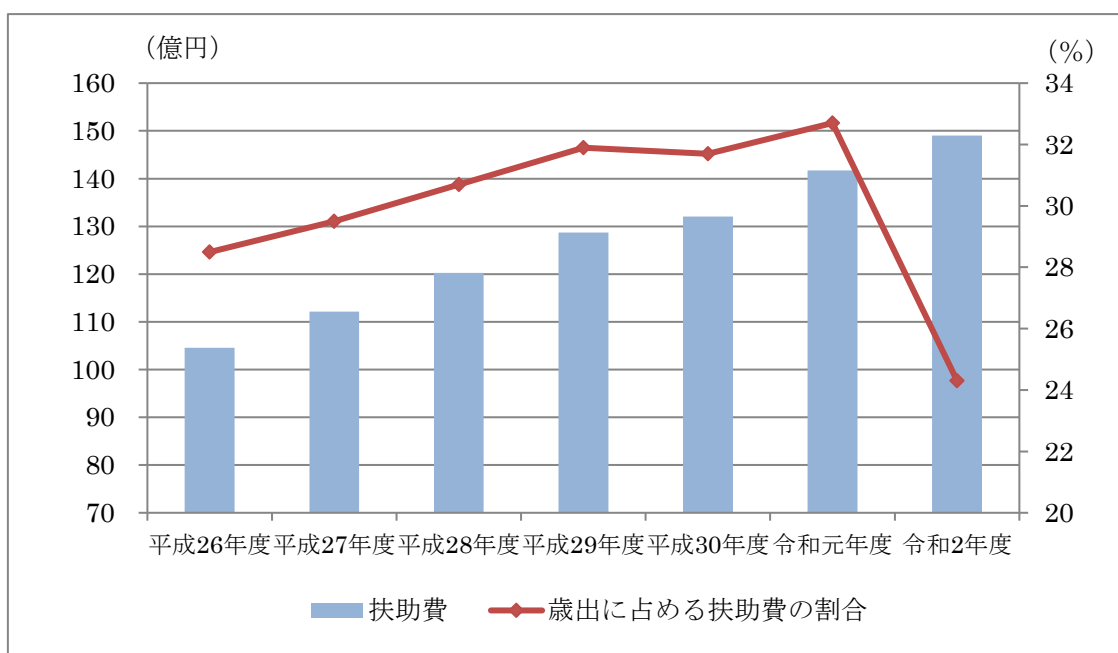
最近では毎年増えていて、今年度も前年度より7億3,194万7千円増えているよ。

朝霞市は待機児童の解消のために保育園を増やすなど、保育需要が拡大しているし、日本全体の問題としては高齢化が進んでいるから、扶助費が増えていくと予想されているよ。しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けて扶助費の割合が下がっているんだ。P28でその影響を解説するよ。



(単位:千円・%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
扶助費	10,457,736	11,215,830	12,026,862	12,869,579	13,205,774	14,170,207	14,902,154
歳出総額	36,684,619	38,024,994	39,195,488	40,381,092	41,683,945	43,341,690	61,326,720
歳出総額に占める扶助費の割合	28.5	29.5	30.7	31.9	31.7	32.7	24.3



ほぼたんのぎもん③ → P25で解説するよ!  
扶助費の令和2年度と平成26年度の決算額を比べると、約1.4倍になっていて、これから先も増えていくことが予想されているんだ。  
そうすると、財政状況はどうなっていくのかな?



歳入と歳出を比べると…?!



## 7 一般会計収支決算の推移

一般会計の収支決算状況は以下の表のとおりだよ。

用語については下で説明するね。

**令和2年度決算は実質単年度収支が黒字だったよ。**これは、単年度収支が黒字かつ、積立金の積立が取り崩しより多かったことが要因だよ。

(単位:千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳入総額	A	37,632,149	39,099,215	40,261,213	41,515,181	43,025,113	44,508,570	62,340,758
歳出総額	B	36,684,619	38,024,994	39,195,488	40,381,092	41,683,945	43,341,690	61,326,720
歳入歳出差引額 (A-B)	C	947,530	1,074,221	1,065,725	1,134,089	1,341,168	1,166,880	1,014,038
翌年度に繰り越 すべき財源	D	43,753	64,835	60,672	114,661	221,698	195,272	25,857
実質収支 (C-D)	E	903,777	1,009,386	1,005,053	1,019,428	1,119,470	971,608	988,181
単年度収支	F	△ 412,918	105,609	△ 4,333	14,375	100,042	△ 147,862	16,573
積立金	G	658,835	853,903	518,521	532,062	703,636	562,226	485,811
繰上償還金	H							
積立金取崩し額	I	279,453	141,705	54,911	303,432	363,853	599,792	233,057
実質単年度収支 (F+G+H-I)	J	△ 33,536	817,807	459,277	243,005	439,825	△ 185,428	269,327

### 【実質収支 (E)】

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた数値で、その年度の実質的な収支(黒字、赤字)を表すよ。

### 【単年度収支 (F)】

当該年度の歳入には、その前年度の実質収支も繰越金として引き継がれているため、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いて、1年間で黒字であったか赤字であったかを表すよ。

### 【実質単年度収支 (J)】

実質的な黒字要素(財政調整基金への積立金や債務を繰り上げて償還した繰上償還金)や赤字要素(積立金取崩し額)が、歳入・歳出に措置されなかった場合、単年度収支がどのようになっていたかを表すよ。

ほぼたんのぎもん④ → P26で解説するよ!  
黒字ということは、朝霞市はお金持ちだと思うかな?



黒字なら  
大丈夫…?

早く落ち着いてほしいね

## 8 新型コロナウイルス感染症による影響

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、市民の安全を守るため必要な支援を迅速に行うとともに、市内事業者が事業を継続できるよう経済対策を行うほか、公共施設などにおける感染症対策を強化したよ。その結果、コロナ対策経費として約165億700万円の支出をしたんだ。そのため、歳出決算額は前年度より約41.5%も増額となったんだよ。



### 【感染症対策事業内訳】

(単位:千円)

事業名	事業費
【個人向け】あさかスマイルキッズ臨時特別給付金支給事業	90,507
【個人向け】特別出産給付金支給事業	83,390
【事業者向け】中小・小規模企業者支援金	270,800
【事業者向け】持ち帰り・宅配サービス導入奨励金	7,650
など64事業 合計	約16,507,000

感染症対策事業に伴う国庫支出金の歳入は約162億6,100万円あったよ。これは、前年度の3倍以上にも上る金額なんだ。その影響で、令和2年度は、前年度とは大きく歳入の構成割合が変わり、国庫支出金が市税を超えて1番大きい金額となったよ。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響で先行きの見えない状況が続くと考えているよ。感染症の対策を実施しつつも、今後の財政運営に細心の注意を払わないといけないね。

しっかりと感染症対策  
しているんだね

新型コロナウイルスの影響はとても大きかっただね。  
P28のほぼたんのぎもん⑧でも影響を解説しているよ。



# 第2章 市債と基金

## 1 市債残高の推移



市債とは、市の借金のことだよ。道路や学校、保育園など長い期間利用できる公共施設を整備するときなどに借りるんだ。大きい工事などを  
 する際は、たくさんお金がかかるため、その年度の歳入だけで支払うのは難しいんだ。また、市民が長い期間にわたって使う施設であれば、それを将来利用する市民にも借金の返済という形で負担してもらうんだ。そうして世代間負担の公平性を保っているんだよ。



朝霞市は、できるだけ返す金額以上に多く借金をしないようにして、バランスを考えながら計画的に運用しているんだよ。それによって、ここ数年間の一般会計における市債残高は減少傾向にあるんだよ。ただ、水道事業と下水道事業を含めた朝霞市全体でみると令和3年度末は少し増える見込みだよ。これは、水道や下水道の施設の老朽化対策工事などに対する借入額が多くなりそうだからなんだ。

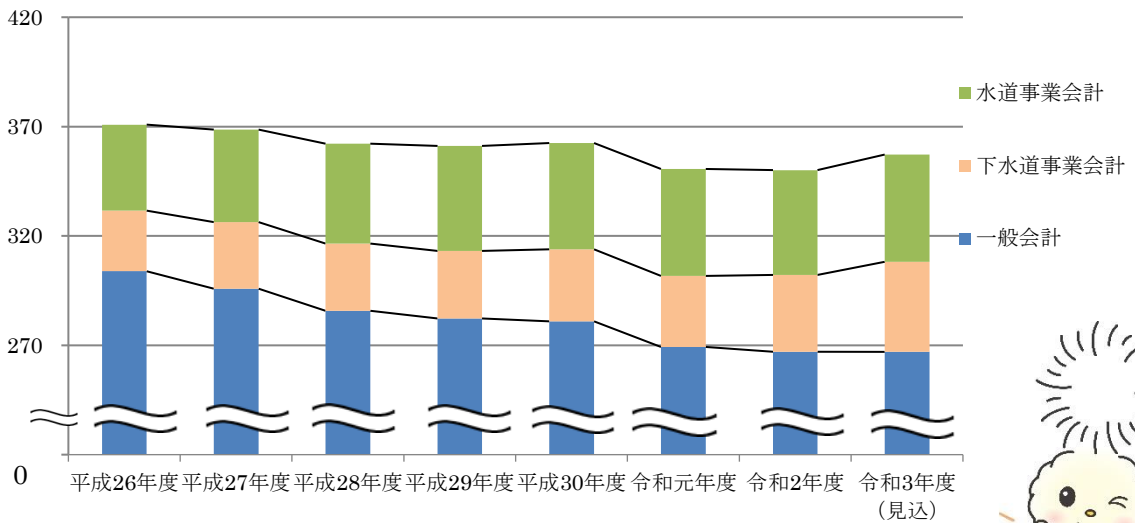
【全会計の市債残高】

(単位:千円)

	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末 (見込)
一般会計	30,386,209	29,587,241	28,571,896	28,221,744	28,089,210	26,926,149	26,711,800	26,699,946
水道事業会計	3,931,418	4,235,746	4,566,720	4,807,088	4,851,916	4,888,188	4,797,993	4,915,563
下水道事業会計	2,771,444	3,038,948	3,086,945	3,088,505	3,301,646	3,246,422	3,500,944	4,111,108
合計	37,089,071	36,861,935	36,225,561	36,117,337	36,242,772	35,060,759	35,010,737	35,726,617

※令和3年度については、令和3年12月末時点の見込みだよ。

(億円)



市債（借金）には、現在の市民と将来の市民の負担を平等にする効果と、毎年の出費の偏りをなくす効果があるんだ。





ちゃんと貯金も  
あるんだね!



## 2 基金残高と財政調整基金の推移

### 【基金残高】

基金とは、決まった目的のために使う貯金のことだよ。でも、財政調整基金だけは、不測の事態に備えるために貯めている貯金だよ。朝霞市の一般会計では、ルールを決めて5つの基金を設置しているよ。

基金名	基金の目的	令和2年度末 現在高(千円)
財政調整基金	年度間の財源が不足した場合に備えて、必要な資金を積み立てているよ。	2,790,647
基地跡地整備基金	基地跡地の整備のために必要な資金を積み立てているよ。	206,407
みどりの まちづくり基金	緑地の保全や緑化の推進に必要な資金を積み立てているよ。	14,512
土地開発基金	土地を買うために必要な資金を積み立てているよ。	3,050,767
福祉資金貸付基金	福祉資金の貸付けに必要な資金を積み立てているよ。	17,952
合 計		6,080,285

前の年の決算で余ったお金は、財政調整基金に2分の1以上の額を積み立てる(貯金する)か、地方債の繰上償還(借金の返済を前倒し)をしなくてはならないんだよ。たくさんお金が余ったからといってどんどん使っていると、収入が少ないときなどに対応できなくなるからね。次のページで財政調整基金について説明するよ。



余裕があるときに財政調整基金に  
貯めておいて、厳しいときに備え  
るんだね



いざというときのための貯金！

### 【財政調整基金】

財政調整基金は、景気の影響などで大幅に税収が減る、地震や台風などの災害がおきた時などによる思わぬ支出が増えるなど、思いもよらない収入の減少や予定外の支出の増加に備えて、**安定した財政運営を行う（市民サービスを提供する）ために積み立てている貯金**なんだよ。



(単位:千円)

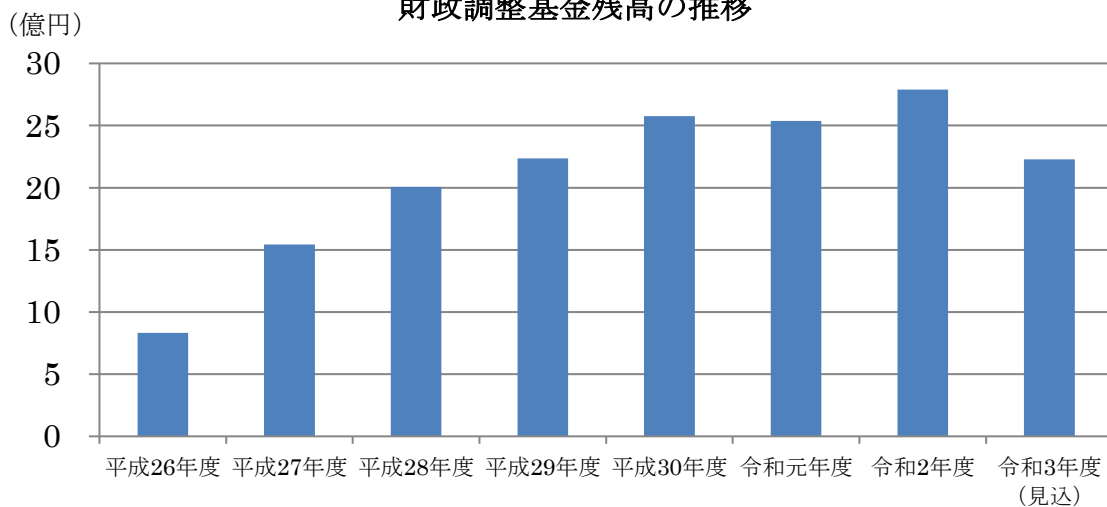
	平成26年度末 現在高	平成27年度末 現在高	平成28年度末 現在高	平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高(見込)
財政調整基金	831,238	1,543,436	2,007,046	2,235,677	2,575,460	2,537,893	2,790,647	2,228,959

※令和3年度については、令和3年12月時点の見込みだよ。

景気の影響を受け、市税収入が伸び悩む中であっても市民サービスの水準を低下させないため、財政調整基金を使った財政運営を行ってきたんだ。その後、景気回復にあわせて市税収入も回復し、平成26年度からは基金へ貯金できるようになったんだ。だけど、**令和元年度は積立が取り崩しより少なかったことから、残高が減少したよ。また、令和3年度は新たに「公共施設マネジメント基金」を設置し、5億円を積み立てるため、財政調整基金の残高が減少する見込みだよ。**

安定した財政運営を行うためには、ある程度の残高は確保しておく必要があるよ。今後、新型コロナウイルス感染症の影響などが見込まれる状況で、市税収入もどう変わっていくか分からないから、**より一層効率的な財政運営を行っていく必要があるんだよ。**

財政調整基金残高の推移

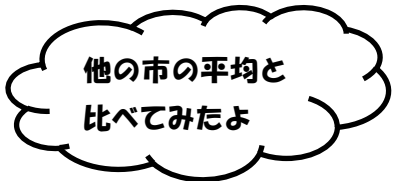


ぽぽたんのぎもん⑤ → P27で解説するよ！  
借金があるのに、貯金もあるね。何か理由があるのかな？



なんでだろう？

# 第3章 主要な財政指標



## 1 財政力指数

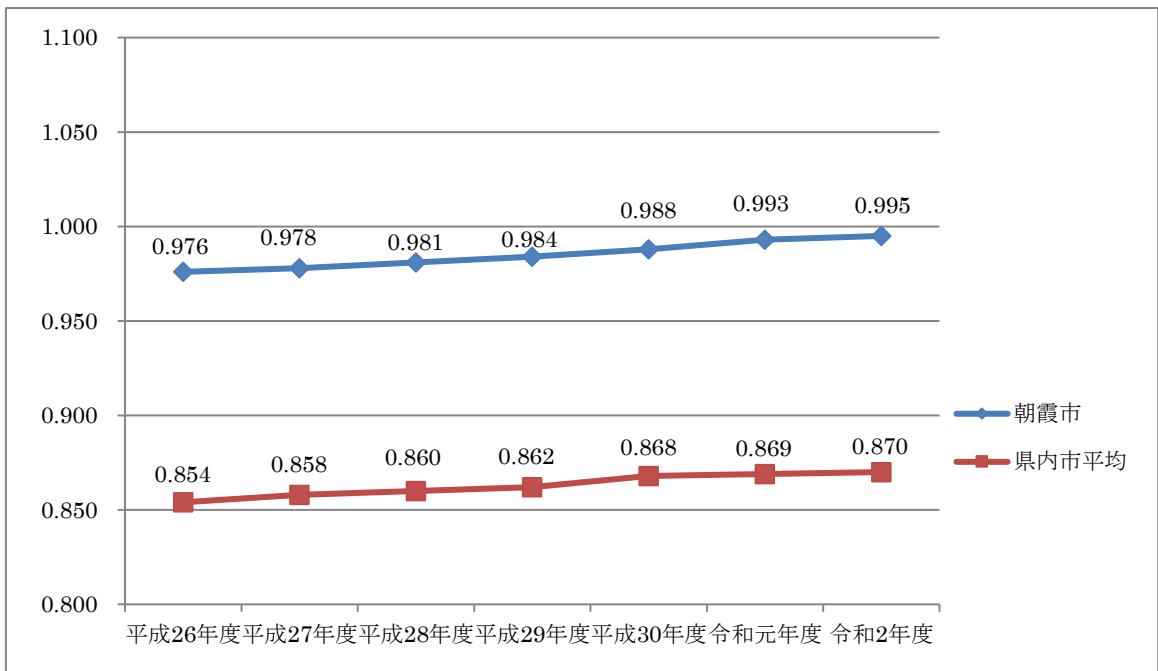
財政力指数とは、市民サービスを行うために必要なお金を自分の力でどれだけ準備できるかを示す指標のことだよ。通常過去3か年の平均で表されるよ。財政力指数が大きいほど力が強いんだけど、この指数が「1」を超えると、国から普通交付税がもらえなくなるんだ。



令和2年度の財政力指数は、高い順（良い方）からみて、県内40市中4番目だったよ。

朝霞市は県内市平均を上回っているよ。だけど、財源の中心が市税だから、景気が良くなると高く、悪くなると低くなりやすいという特徴があるんだよ。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
朝霞市	0.976	0.978	0.981	0.984	0.988	0.993	0.995



ほぼたんのぎもん⑥ → P27で解説するよ！  
財政力指数は大きいほうが財政力は強いけど、「1」を超えると国から普通交付税をもらえなくなっちゃうんだ。  
財政力指数は「1」を超えたほうがいいの？  
それとも超えないほうがいいの？



～コーヒーブレイク～  
普通交付税とは？

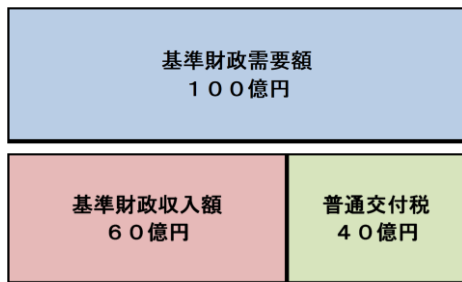


休憩だぼ。

普通交付税とは、地方交付税の一つで、地方公共団体ごとに「基準財政需要額」と「基準財政収入額」を算出し、「基準財政需要額>基準財政収入額」となる場合に交付される一般財源のことだよ。「基準財政需要額」は、地方公共団体ごとに合理的・客観的な指標をもとに計算された標準的な行政経費（支出）のことで、「基準財政収入額」は、標準的な一般財源となる収入のことなんだ。だから、市が独自のサービスなどで支出を増やしたとしても、普通交付税が増加するとは限らないんだ。

【普通交付税のイメージ】

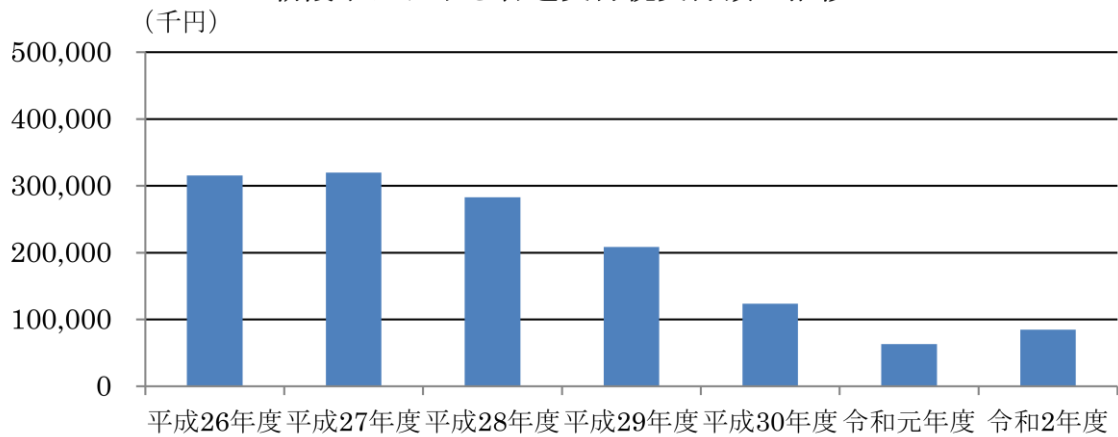
① 交付となる場合



② 不交付となる場合



朝霞市における普通交付税交付額の推移

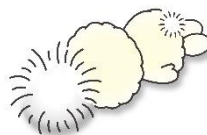


(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
普通交付税交付額	315,666	319,699	282,874	208,235	123,664	62,996	84,923

ちなみに、地方交付税には、普通交付税の他に「特別交付税」というのもあって、普通交付税に反映できない地域ごとの特別な事情や災害などの突発的な状況の時に発生する需要に対して交付されるものもあるんだよ。

休憩できなかったぼ。  
むずかしいんだぼ。



自由に使えるお金が少ない!?

## 2 経常収支比率

経常収支比率とは、財政構造の柔軟さが分かる指標で、「毎年収入される市税などの経常一般財源、減税補てん債（特例分）や臨時財政対策債」（自由に使える歳入）を、「人件費や扶助費などの決まった支出」（必ず必要な歳出）に対してどの程度充てているかの割合で算出される指標だよ。

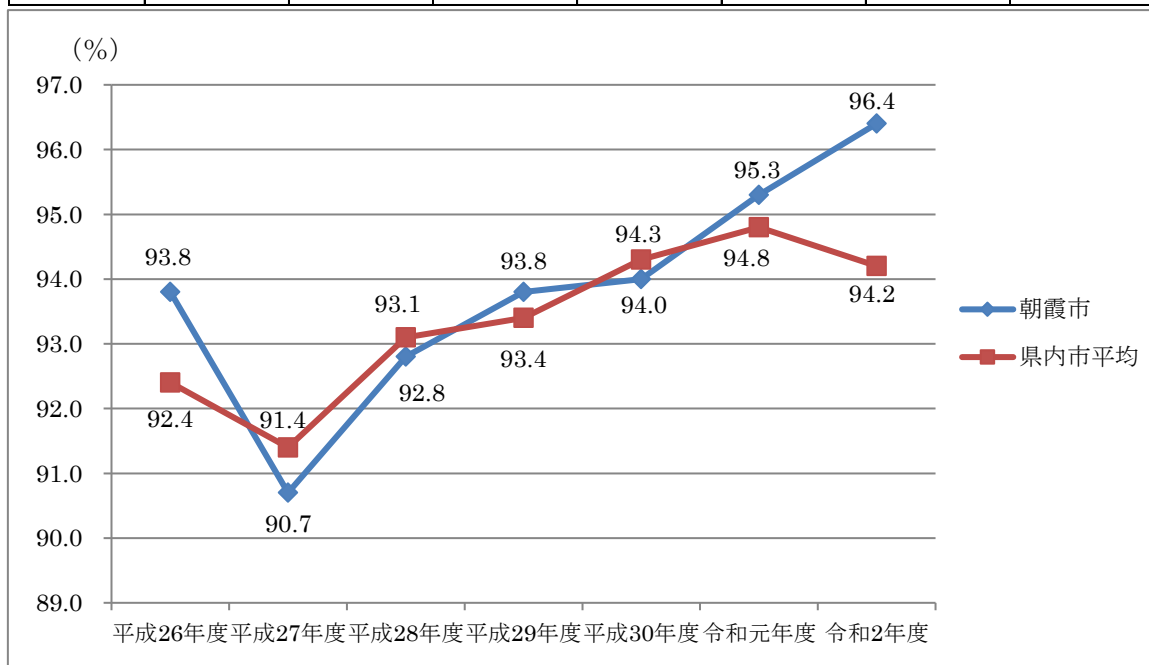
この指標が高いと、毎年決まった事にお金がかかってしまい、新しい市民サービスの提供などに使える自由なお金が少ないんだ。だから、この比率が低いほうが色々な市民サービスに使えるお金が多いということになるんだ。

令和2年度は、比率の低い順（良い方）からみて、県内40市中35番目だったよ。

令和2年度は、市税収入などは増えているんだけど、物件費や補助費、扶助費などの必要な支出はもっと増えていて、前年度より自由に使えるお金の割合が少ないんだよ。

(単位: %)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
朝霞市	93.8	90.7	92.8	93.8	94.0	95.3	96.4



ほぼたんのぎもん① → P28で解説するよ!

朝霞市は市税収入が増えているはずなのに、自由に使えるお金の割合は減っているんだね。

ということは、ここからどのようなことが読み取れるかな? また、今後はどうしていけばよいのかな?

どうしよう...

チェック!!

### 3 健全化判断比率

健全化判断比率とは、地方財政が破たんしないように（赤字が続いたり、借金の返済などによって市民サービスができなくならないように）チェックするための指標だよ。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で決まっているんだよ。



次の4つの指標の内、一つでも早期健全化基準以上だった場合、「財政健全化団体」に指定され、財政健全化に取り組むことが義務付けられているよ。

さらに、一つでも財政再生基準以上だった場合は、「財政再生団体」に指定され、自主的な財政運営が制限されるとともに、国の監督下で財政再建に取り組むことになるんだ。財政再建計画を作って国に報告する義務があったり、自由に借金ができなくなったりするんだよ。

朝霞市は4つのどの指標も基準を下回っていて、健全な状態で財政運営を行っているんだよ。

#### 【実質赤字比率】

一般会計の実質赤字額が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標だよ。朝霞市の一般会計に実質赤字額は無いよ。

(単位:%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
朝霞市	-	-	-	-	-	-	-
早期健全化基準	12.28	12.23	12.18	12.16	12.13	12.11	12.05
財政再生基準	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00

※実質赤字額がないため「-」と表記しているよ。

#### 【連結実質赤字比率】

全会計の実質赤字額（又は資金不足額）が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標だよ。朝霞市は全会計をあわせても実質赤字額は無いよ。

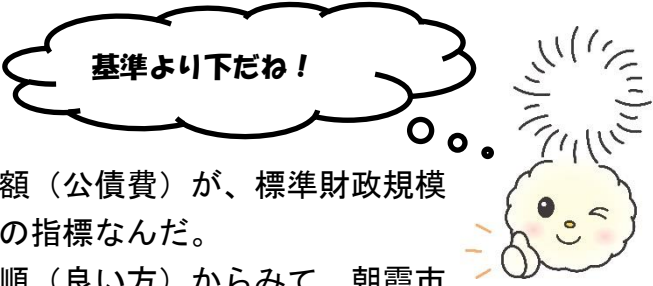
(単位:%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
朝霞市	-	-	-	-	-	-	-
早期健全化基準	17.28	17.23	17.18	17.16	17.13	17.11	17.05
財政再生基準	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00

※連結実質赤字額がないため「-」と表記しているよ。

実質赤字額は無いね!





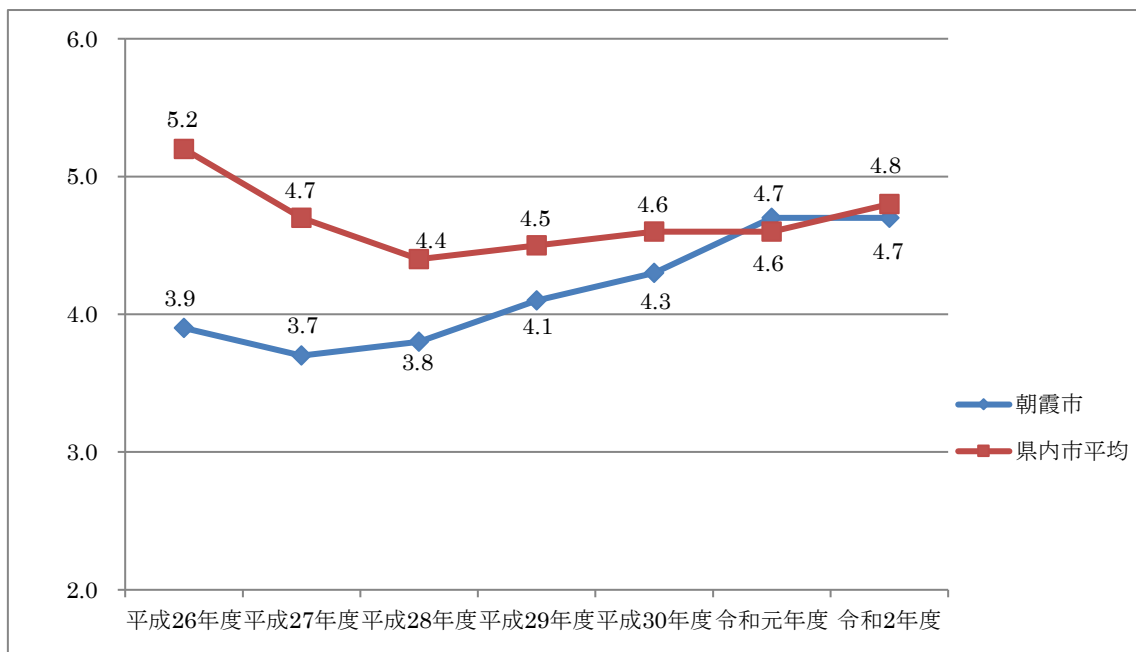
**【実質公債費比率】**

一般会計が1年間で支払う借金の返済額（公債費）が、標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表すための指標なんだ。

令和2年度は、実質公債費比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中21番目なんだよ。早期健全化基準を大きく下回っていて、さらに県内市平均も下回っているよ。近年は、やや上昇している状況だよ。

(単位: %)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
朝霞市	3.9	3.7	3.8	4.1	4.3	4.7	4.7
早期健全化基準	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
財政再生基準	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0



※標準財政規模…地方公共団体が標準的な状態で収入できるだろう経常一般財源（毎年度継続的に収入される使いみちに制限のない収入）の規模を示すものだよ。標準財政規模は、次の算式で求められるんだ。

$$\text{標準財政規模} = \text{標準税収入額等} + \text{普通交付税額} + \text{臨時財政対策債発行可能額}$$

標準税収入額等…標準税率による税収入、地方譲与税、交通安全対策特別交付金

(単位: 千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
標準財政規模	22,371,324	23,004,151	23,577,204	23,867,884	24,374,531	24,611,558	25,585,443

負担は残したくないね

### 【将来負担比率】

一般会計が将来支払うべき借金の返済額（市債残高）などの負担の見込額が、標準財政規模に対してどれくらいあるかを示す指標だよ。

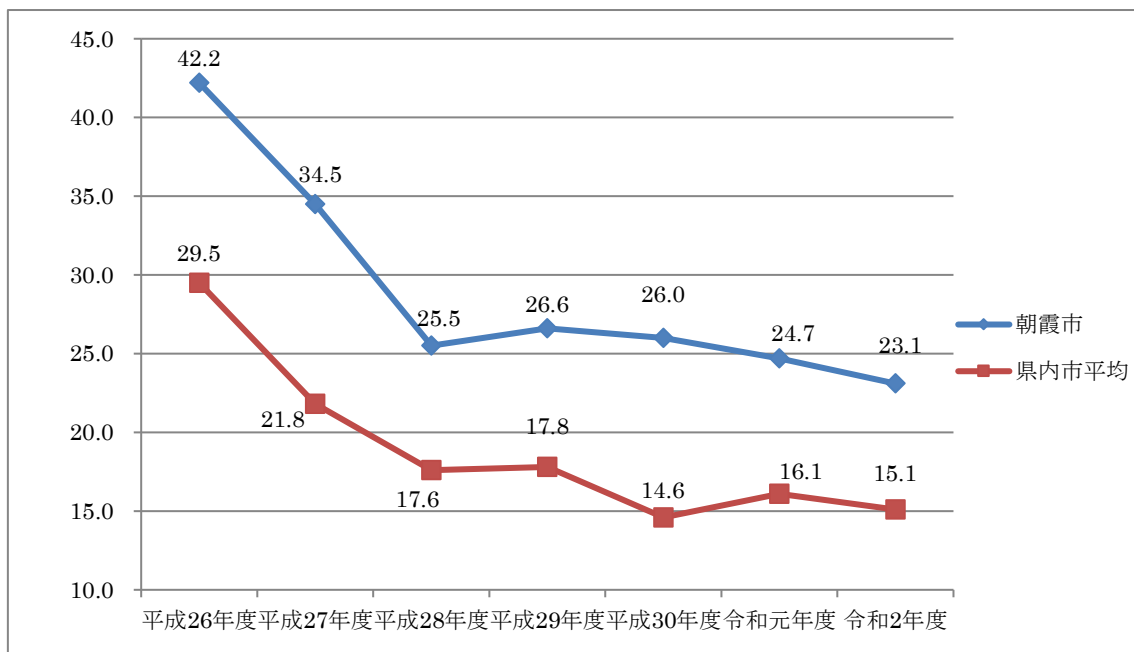
令和2年度は、将来負担比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中26番目なんだよ。

県内市平均は上回っているけど、早期健全化基準を大きく下回っているんだ。ここ数年は、減少傾向にあるよ。



(単位:%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
朝霞市	42.2	34.5	25.5	26.6	26.0	24.7	23.1
早期健全化基準	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0
財政再生基準							



朝霞市は、赤字は無く、借金に頼り過ぎない財政運営を行っていて、4つの指標全てで早期健全化基準をクリアしているんだね。

いいかんじだほ！





# 第4章 予算編成



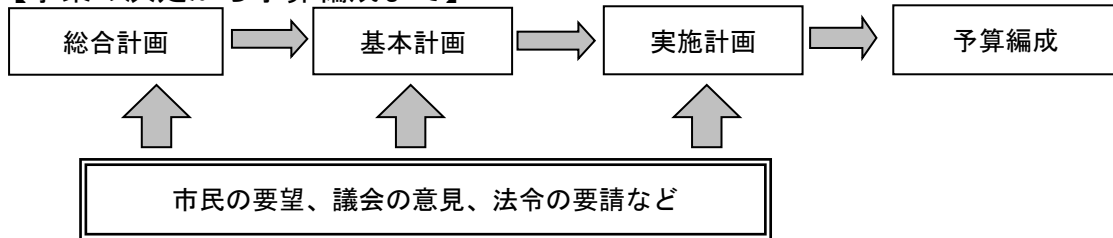
## 1 予算編成の流れ

予算とは1年間の歳入と歳出の見積りのことで、予算編成とは、その見積りを作ることなんだよ。予算を作るといっても、ルールなどの決まりごとがないと決められないよね。そこで朝霞市では、総合計画に基づいて事業の優先度を政策的に判断し、優先度の高い事業については重点的に予算を配分する、「政策主導型」の予算編成を行っているんだよ。

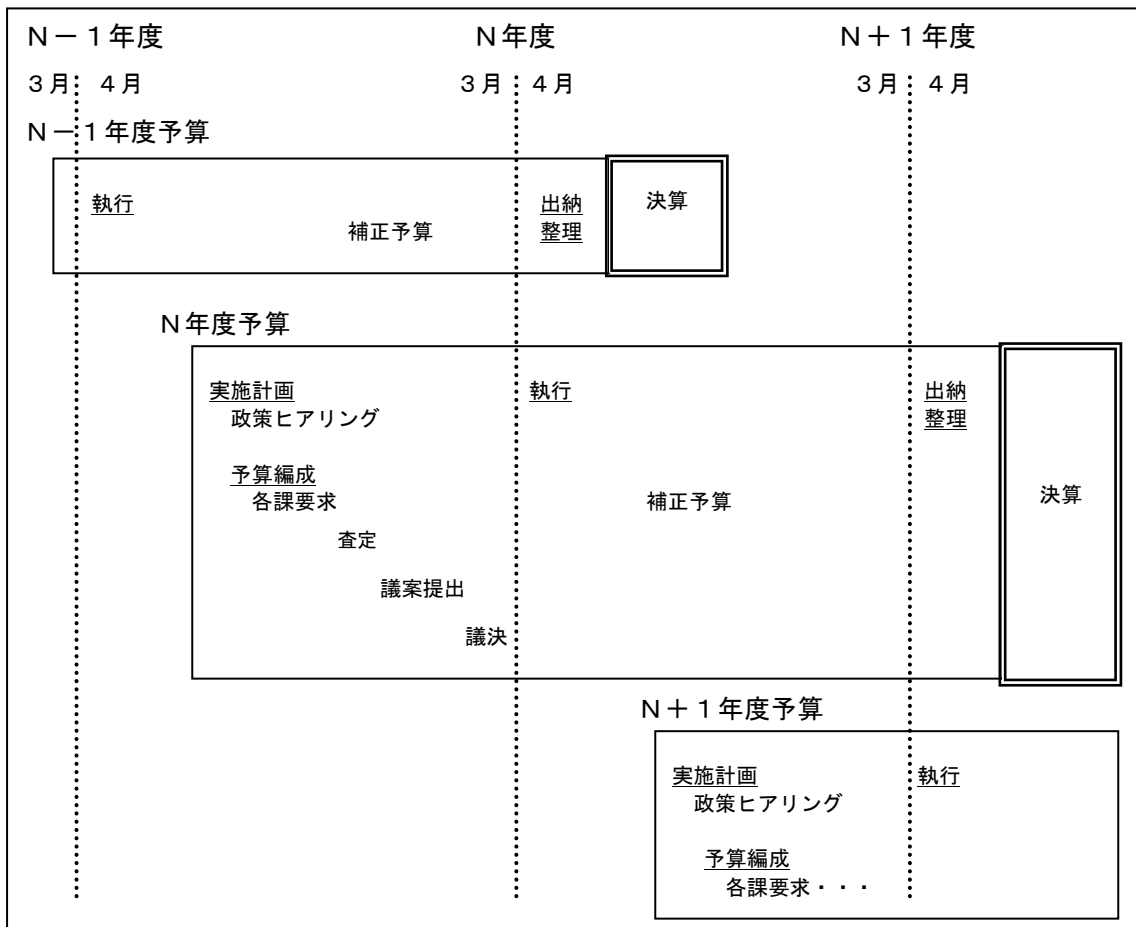


歳入は限られているから、少ないお金でより良いサービスを提供できるように予算編成に取り組んでいるんだ。

【事業の決定から予算編成まで】

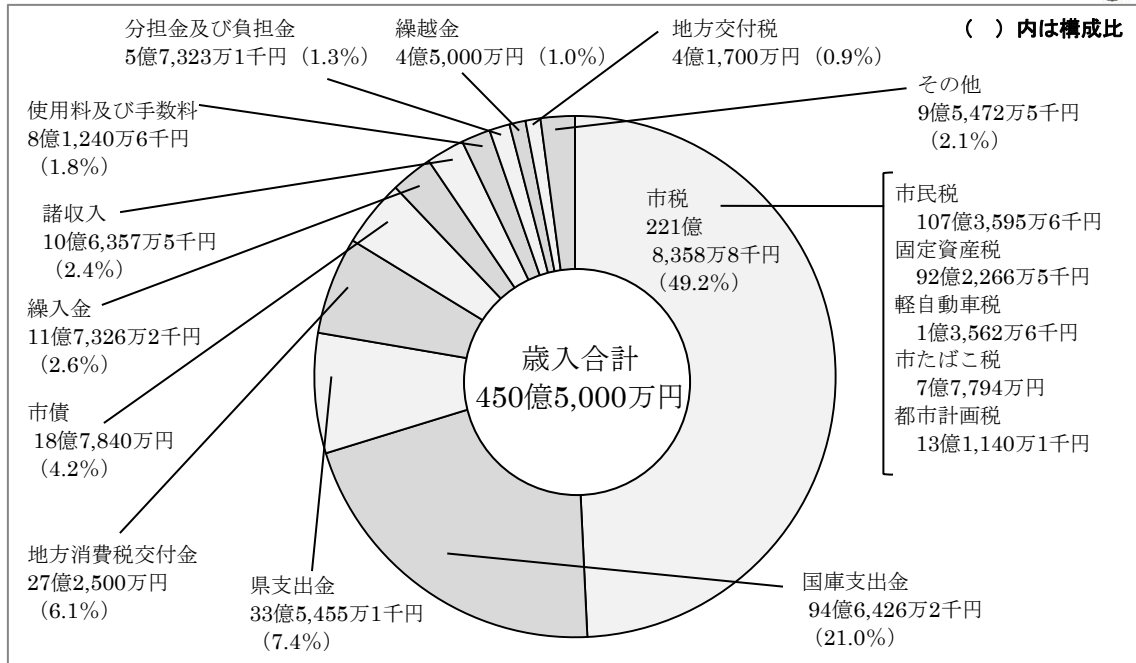


【予算編成の流れ】



## 2 令和3年度一般会計当初予算（歳入）

今年どのくらいお金が入ってくるかの予想だよ



(単位:千円・%)

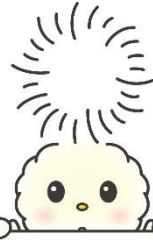
款	予算額	構成比	款	予算額	構成比
★市 税	22,183,588	49.2	交通安全対策特別交付金	13,257	0.0
★地 方 譲 与 税	202,500	0.5	★分 担 金 及 び 負 担 金	573,231	1.3
★利 子 割 交 付 金	12,000	0.0	★使 用 料 及 び 手 数 料	812,406	1.8
★配 当 割 交 付 金	105,000	0.2	★国 庫 支 出 金	9,464,262	21.0
★株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	71,000	0.2	★県 支 出 金	3,354,551	7.4
★法 人 事 業 税 交 付 金	51,000	0.1	★財 産 収 入	162,967	0.4
★地 方 消 費 税 交 付 金	2,725,000	6.1	★寄 附 金	1	0.0
★ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	8,000	0.0	★繰 入 金	1,173,262	2.6
★環 境 性 能 割 交 付 金	28,000	0.1	★繰 越 金	450,000	1.0
★国 有 提 供 施 設 等 所 在	111,000	0.2	★諸 収 入	1,063,575	2.4
★市 町 村 助 成 交 付 金	190,000	0.4	★市 債	1,878,400	4.2
★地 方 特 例 交 付 金	190,000	0.4	合 計	45,050,000	100.0
★地 方 交 付 税	417,000	0.9			

※★は自主財源を、それ以外は依存財源を表しているよ。

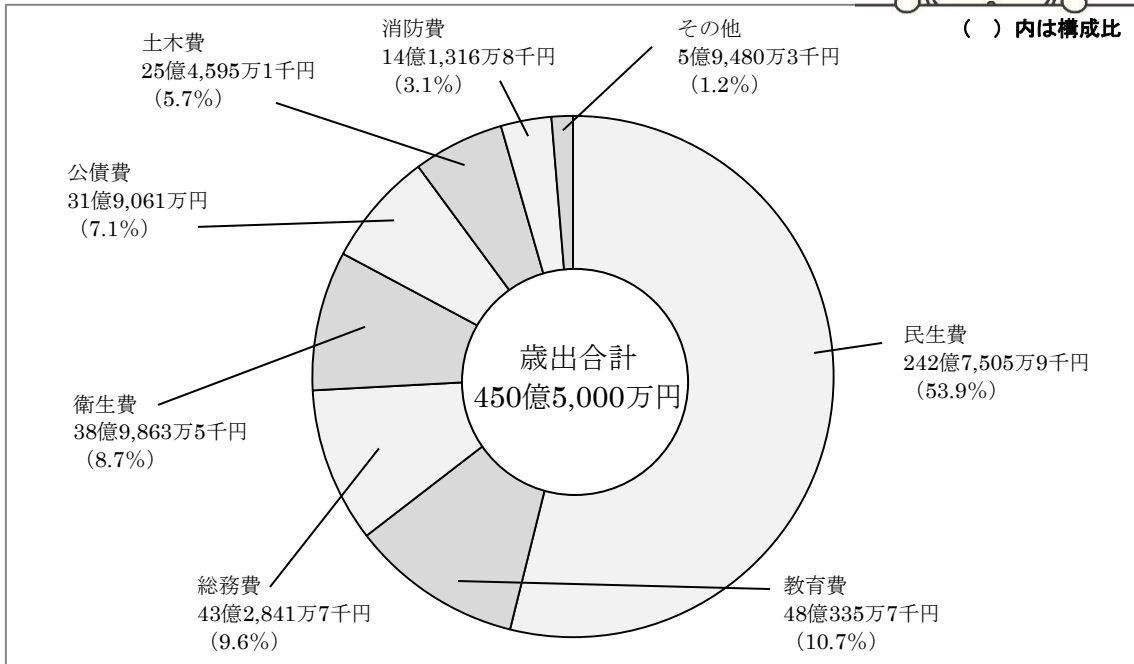
入ってくるお金以上にお金を使うと赤字になってしまうから、歳入予算額と歳出予算額は、同じ額として見積るんだよ。



市がその年に行う予定のことは、  
歳出予算を見れば分かるんだね



### 3 令和3年度一般会計当初予算（歳出）



(単位:千円・%)

款	予算額	構成比	款	予算額	構成比
議会費	284,722	0.6	土木費	2,545,951	5.7
総務費	4,328,417	9.6	消防費	1,413,168	3.1
民生費	24,275,059	53.9	教育費	4,803,357	10.7
衛生費	3,898,635	8.7	公債費	3,190,610	7.1
労働費	1,728	0.0	諸支出金	6,003	0.0
農林水産業費	67,955	0.1	予備費	50,000	0.1
商工費	184,395	0.4	合計	45,050,000	100.0

議会費…議会の活動のための経費

総務費…徴税・戸籍・選挙・統計などのための経費

民生費…福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するための経費

衛生費…公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費

労働費…労働者を支援する各種事業のための経費

農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費

商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興などのための経費

土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画などのための経費

消防費…埼玉県南西部消防本部の運営や、消防団の活動などのための経費

教育費…学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費

公債費…市が借り入れした市債（借金）の元金、利子の償還（返済）費



まだまだ  
気になるなあ

## 番外編 ほぽたんのぎもん

色々と難しい言葉がでてきてほぽたんには難しかったかな？  
もう少し説明が必要なところについて、解説するよ！



ぎもん① P5より  
市税が減るとどうなっちゃうのかな？

### こたえ①

朝霞市の歳入における市税の割合は大きいことをさっき勉強したよね。だから、市税が減ると、これまで行ってきた市民サービスが提供できなくなってしまおうおそれがあるんだよ。

市税には、景気の影響を受けやすいといった特徴があるんだ。また、新型コロナウイルスや災害などでも影響を受けたりするね。だから、そんなときのためにある程度貯金をしておく必要があるんだよ。その貯金のことをP14で説明した財政調整基金と言うんだ。

### ～さらにいうと～

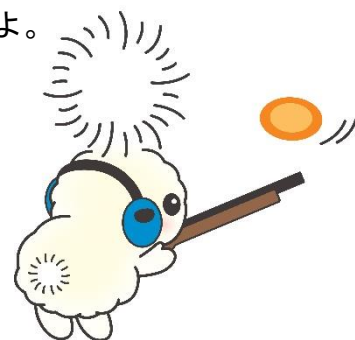
最近話題となっている「ふるさと納税」。寄附によりふるさとを応援するという趣旨は大切だね。だけどこの制度によって、本来朝霞市に入ってくるはずだった市民税も影響（減収）を受けているんだよ。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①	6,263万1千円	1,196万3千円	1,805万6千円
②	1億8,932万2千円	2億6,129万4千円	2億9,167万円
差引収支	△1億2,669万1千円	△2億4,933万1千円	△2億7,361万4千円

① 朝霞市が受け入れたふるさと納税寄附金

② 朝霞市民が他市などへ寄附をした分の市民税の減収額（寄附金税額控除）

このように、差引収支のマイナスは年々増えていて、令和2年度は、**2億7,361万4千円もマイナス**になっているんだ。このままだと市民サービスに影響が出ることも考えられるから、朝霞市のPRをしたりして、朝霞市にもふるさと納税をしてもらえるよう工夫をしているんだよ。



### ぎもん② P6より

市民一人当たりの市税負担額より、使われたお金の方が多いい理由は？  
民生費は具体的にどんなサービスがあって、なんで今後も増えていくの？

#### こたえ②

歳入には、市税だけでなく、国や県からもらうものや施設の使用料など、色々な種類の収入があるんだ。そういったものを活用することで、市民に負担してもらう市税以上に、たくさんのサービスを行えるように工夫しているんだよ。

民生費は、福祉や医療などの経費で、具体的には、障害者の方々のお手伝いや高齢者がおうちで自立した生活を送るためのお手伝い、こども医療費の支払いや保育園の整備・運営などの費用があるよ。

これらの事業は市民の生活に直結しているので、減らすことが難しいんだ。しかも朝霞市では人口が増えていて、保育園に入園したい子どもの数も増えているし、高齢化も進んでいくから、今後も増加していくものと考えられているんだよ。

### ぎもん③ P9より

扶助費がこれからも増えていくと、朝霞市の財政状況はどうなるの？

#### こたえ③

繰り返しになるけど、扶助費は市民の生活を支えるために必須のものなんだ。また、扶助費は義務的経費とも呼ばれ、支払うことが義務付けられている費用なんだ。そのため、扶助費が減ることは国の制度が変更になるなど、特別な理由がない限りは考えられないんだよ。そして、扶助費がこのままどんどん増えていくと、新しいことやほかのことに使えるお金が減ってってしまうんだ。

だから今後は、お金の使いみちに優先順位をつけていくことが、ますます大事になってくるんだよ。



### ～さらにいうと～

社会保障関係経費には、国や県からの負担金や補助金などを活用している部分があるんだよ。「特定財源」というんだ。

でもね、全額を負担してくれるわけではなくて、市が負担する分も当然あるんだ。「一般財源」というよ。令和2年度と前年度を比較すると・・・

特定財源が増えていて、国や県の負担してくれる分や、補助金を活用している分が増えたことで、朝霞市が負担している分は減っているんだね。

経費区分	令和2年度	令和元年度	増減額
社会保障施策に要する経費	231億8,726万3千円	227億857万2千円	4億7,869万1千円
特定財源	117億8,671万1千円	112億6,008万5千円	5億2,662万6千円
一般財源	114億55万2千円	114億4,848万7千円	△4,793万5千円

#### ぎもん④ P10より

黒字ということは、朝霞市はお金持ちなのかな？

#### こたえ④

もちろん黒字なのはいいことだけど、予算の仕組み上、地方公共団体はほとんどが黒字なんだよ。朝霞市の状況としては、景気の回復にあわせて市税収入も増えているし、人口も毎年増えているんだ。でもね、次々に新しい行政課題が出てきて、それに対応するためにはたくさんのお金が必要になってくるんだ。

例えば、昔に建てた建物や道路などが古くなって修理しないと使えないとか、扶助費が年々増加しているなど、朝霞市が抱えている課題はたくさんあるんだ。だから、その年だけ見て、「黒字だから大丈夫」っていうことは言えないんだ。それよりも、「将来に備えなければいけない」という危機感を持っていないと、災害などの不測の事態が起きた時に対応できなくなってしまうんだ。

令和2年度の実質単年度収支は黒字だけど、借金の返済も残っているし、貯金もまだまだ少ないから、朝霞市はお金持ちであるとは言い切れないんだ。





### ぎもん⑤ P14より

借金があるのに貯金もあるのはなんでだろう？

#### こたえ⑤

P12でも説明したけれど、朝霞市の借金には、市民が長い期間にわたって使う施設の建設費などを、将来利用する市民にも借金の返済という形で負担してもらって世代間負担の公平性を保つ、という効果があるんだ。また、朝霞市が借金をするときには、原則として「お金が足りないからという理由」ではなく、「道路を作る・施設の改修をするなどの具体的な理由」が必要なんだ。しかも、「具体的な理由」について、事前に埼玉県に届出や協議をした上で、その事業に実際にかかった費用のうち決まった割合までしか借りられないんだ。以上のように、借金には色々ルールがあって、お金が足りないからといって急に借りられるものではないんだ。

家計に置き換えて考えると、住宅ローン（借金）を払いながら、他の支出に備えて貯金することは普通だよ。それと同じように朝霞市も、新しい建物を建てたりして大きな支出があると借金をするし、その借金を払い終わる前でも、災害などの突然の支出に備えて貯金する必要があるんだ。

### ぎもん⑥ P15より

財政力指数は「1」を超えたほうがいいのかそれとも超えないほうがいいのか？

#### こたえ⑥

もし財政力指数がとても大きければ、他の地方公共団体と比較したとき、財政的に余裕があると言われているよ。だけど、財政力指数が1を超えると、

- ①普通交付税がもらえなくなる（不交付団体になる）
- ②臨時財政対策債の発行ができなくなる
- ③国や県からの補助金の補助率が下がって、もらえる補助金の額が下がるなどのデメリットもあるんだよ。

また、不交付団体になると、税収が上がったり下がったりしたときには、その影響を全額受けてしまうんだよ（交付団体であれば、影響の一部は地方交付税をもらってカバーできるんだ）。

朝霞市はもう少しで財政力指数が「1」を超えそうな状況なんだ。仮に少しだけ「1」を超えたとしたら、税収があまり変わらないのに上のデメリットの影響を受けてしまうから、逆に財政的に不利な状況になる可能性があるんだ。





※ちなみに財政力指数は、実際の歳入や歳出で計算するのではなく、「歳入の見込み額」と、「人口や面積などから計算した必要とされる額」を比べた財源不足額から計算しているんだよ。そのため、実際に必要な金額と少し違うところがあるんだ。

**ぎもん⑦ P17より**

**朝霞市は市税収入が増えているはずなのに、自由に使えるお金の割合は減っているんだね。ということは、ここからどのようなことが読み取れるかな？また、今後はどうしていけばよいのかな？**

**こたえ⑦**

市税収入が増えているので、安心・・・に見えるかもしれない。だけど、自由に使えるお金の割合が減っているということは、市税収入が増えた分以上に、扶助費などの義務的経費が大きく増えていることが読み取れるね。

これからも新型コロナウイルスの影響などで、経済の先行きが不透明なため、市税収入の大幅な伸びが期待できない中、困っている市民の方々を助けるため、いろいろな市民サービスは続けていかななくてははいけないね。

朝霞市は今後、効率よく市民サービスを行い、市民に満足してもらえるように工夫や努力をしていく必要があるんだ。

**ぎもん⑧ P3、P9より**

**令和2年度は新型コロナウイルス感染症によってどのような影響があったのかな？**

**こたえ⑧**

P11でも触れたけど、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対策事業で約165億700万円もの経費がかかったよ。その影響もあって、令和2年度の歳出決算額は前年度の433億4,169万円と比べて、179億8,530万円と41.5%も増えたんだ。

そのうち、大部分を占めるのが特別定額給付金給付事業の経費で、歳出が143億2,450万円（うち補助費等が142億5,610万円）、歳入も143億2,450万円（全て国庫支出金）だったよ。



この影響で、歳出（性質別）では補助費等の割合が前年度の5.8倍と大幅に増えて、扶助費が全体の割合では大きく下がったように見えるよ。でも、扶助費の金額が下がった訳ではないんだ。扶助費自体は増えていて、今後も増えていくと予想されているよ。

歳入では、例年市税の金額が一番多くて歳入全体の半分程度を占めていたんだけど、令和2年度は国庫支出金が40.4%で1番だったんだ。歳入総額が大幅に増えたので、市税が全体の割合では37.2%と大きく下がったように見えるよ。



**ぼくと一緒に勉強してくれてありがとう。**

**とっても難しかったけど、最後まで頑張ったぼ！**



ぼぼたん、最後まで付き合ってくれてありがとう。  
でも、少し難しかったよね。わからないことがあったら、いつでも聞いてね。  
また、本冊子を見られた市民の皆さまが朝霞市の財政に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

## 資料編

本編に関連するデータを掲載しています。

資料 1 歳入・歳出決算額の推移

資料 2 実質収支の推移（一般会計）

資料 3 市債現在高の推移

# 資料1 歳入・歳出決算額(款別)の推移調

単位:千円・%

年度 款	平成10年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率	
市 税	17,161,829	21,056,700	20,782,769	19,950,261	20,104,139	20,306,302	20,532,649	20,869,175	21,263,529	21,634,756	22,031,011	1.8	22,513,237	2.2	22,978,846	2.1	23,205,901	1.0	
地方譲与税	209,816	249,768	234,012	229,808	235,076	219,575	210,324	191,649	200,716	215,524	215,174	△ 0.2	217,545	1.1	213,647	△ 1.8	218,800	2.4	
利子割交付金	133,944	88,652	72,020	64,238	50,670	45,221	41,231	36,704	32,193	20,791	33,775	62.5	34,182	1.2	17,918	△ 47.6	19,188	7.1	
配当割交付金		34,990	27,467	34,518	39,600	45,710	87,513	166,877	130,680	86,741	116,268	34.0	95,210	△ 18.1	117,442	23.4	101,955	△ 13.2	
株式等譲渡所得割交付金		12,098	14,710	11,602	9,839	13,258	143,940	102,340	132,599	52,978	127,269	140.2	87,835	△ 31.0	71,170	△ 19.0	122,545	72.2	
法人事業税交付金																		71,435	皆増
地方消費税交付金	958,273	932,239	994,686	992,977	1,002,726	1,013,566	1,004,928	1,228,034	2,043,702	1,855,695	2,009,905	8.3	2,257,714	12.3	2,173,348	△ 3.7	2,674,334	23.1	
ゴルフ場利用税交付金	28,215	15,304	15,884	14,371	14,051	13,748	13,885	14,549	14,454	14,572	13,514	△ 7.3	12,951	△ 4.2	10,792	△ 16.7	10,196	△ 5.5	
環境性能割交付金																		14,355	皆増
国有提供施設等所在市町村助成交付金	89,945	41,177	79,892	100,746	100,655	117,194	111,354	111,376	115,181	121,629	121,385	△ 0.2	121,142	△ 0.2	121,142	0.0	111,572	△ 7.9	
地方特例交付金		295,056	267,288	243,510	309,688	130,160	123,587	111,934	111,539	121,176	132,483	9.3	161,086	21.6	451,096	180.0	196,950	△ 56.3	
地方交付税	1,583,280	139,970	140,124	160,397	589,349	625,351	584,041	452,249	467,441	401,441	322,964	△ 19.5	291,488	△ 9.7	269,761	△ 7.5	226,733	△ 16.0	
交通安全対策特別交付金	20,188	17,642	17,824	16,676	16,108	16,077	16,061	14,345	15,028	14,494	14,117	△ 2.6	13,035	△ 7.7	12,619	△ 3.2	14,017	11.1	
分担金及び負担金	420,430	483,450	503,338	499,344	513,738	562,107	631,809	696,599	838,475	857,452	920,729	7.4	964,802	4.8	754,429	△ 21.8	437,170	△ 42.1	
使用料及び手数料	652,087	765,683	749,512	745,721	738,879	749,512	736,956	732,790	741,909	739,749	723,030	△ 2.3	745,329	3.1	753,034	1.0	660,237	△ 12.3	
国庫支出金	2,020,625	3,299,798	6,239,445	4,977,568	5,416,952	5,148,676	5,226,516	5,895,068	6,360,587	7,411,567	6,963,704	△ 6.0	7,070,614	1.5	8,142,116	15.2	25,237,125	210.0	
県支出金	1,031,561	1,335,321	1,346,947	1,726,818	2,049,425	2,139,928	2,078,387	2,182,265	2,290,350	2,390,167	2,415,281	1.1	2,589,386	7.2	3,036,508	17.3	3,271,013	7.7	
財産収入	28,041	20,689	14,952	31,359	339,525	142,037	229,278	93,909	51,234	91,119	48,088	△ 47.2	59,611	24.0	122,252	105.1	168,898	38.2	
寄附金	25,300	3,827	391	484	414	10,848	5,613	817	1,819	1,013	40,375	3,884.0	63,909	58.3	14,999	△ 76.5	138,462	823.1	
繰入金	190,251	352,925	151,104	848,949	111,852	433,440	1,002,795	319,045	173,241	65,671	384,144	484.9	465,779	21.3	815,212	75.0	291,973	△ 64.2	
繰越金	1,957,859	1,846,120	1,772,925	1,360,091	1,224,624	1,118,883	1,076,081	1,418,228	947,530	1,074,221	1,065,725	△ 0.8	1,134,089	6.4	1,341,168	18.3	1,166,881	△ 13.0	
諸収入	904,738	1,089,693	1,039,896	1,327,139	1,146,367	1,177,350	1,324,670	1,243,093	1,249,863	1,341,701	1,346,615	0.4	1,385,178	2.9	1,319,925	△ 4.7	1,291,310	△ 2.2	
市債	2,160,000	3,170,478	3,968,731	2,318,167	2,275,173	2,114,184	1,770,552	1,713,809	1,856,585	1,686,090	2,380,272	41.2	2,648,341	11.3	1,709,394	△ 35.5	2,674,180	56.4	
特別地方消費税交付金	3,397																		
自動車取得税交付金	195,127	173,203	101,440	88,558	53,773	95,094	83,001	37,294	60,560	62,666	89,353	42.6	92,650	3.7	47,397	△ 48.8		皆減	
合 計	29,774,906	35,424,783	38,535,357	35,743,302	36,342,623	36,238,221	37,035,171	37,632,149	39,099,215	40,261,213	41,515,181	3.1	43,025,113	3.6	44,508,570	3.4	62,340,758	40.1	

年度 款	平成10年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
議会費	257,300	252,927	275,908	250,438	311,907	296,191	290,729	292,300	282,878	280,222	280,862	0.2	274,191	△ 2.4	272,039	△ 0.8	277,618	2.1
総務費	3,971,951	4,189,710	4,424,094	4,201,084	3,872,845	3,920,221	4,291,635	4,758,979	5,672,270	5,331,762	5,507,994	3.3	5,614,191	1.9	4,846,666	△ 13.7	4,775,543	△ 1.5
民生費	6,807,808	11,418,903	12,165,940	14,844,261	15,575,434	16,070,055	16,882,399	17,852,152	18,559,284	20,101,436	20,494,668	2.0	20,948,500	2.2	22,641,729	8.1	38,094,711	68.3
衛生費	2,774,153	2,740,339	2,530,526	2,895,845	2,952,128	2,900,293	2,680,223	2,859,516	2,727,219	2,778,296	2,720,861	△ 2.1	2,940,213	8.1	2,970,837	1.0	3,357,362	13.0
労働費	58,514	29,212	26,914	27,098	26,359	24,361	24,353	1,466	1,454	1,419	1,397	△ 1.6	1,368	△ 2.1	1,329	△ 2.9	1,683	26.6
農林水産業費	68,646	79,051	78,363	89,024	69,390	72,562	74,008	71,655	69,987	64,407	65,387	1.5	68,165	4.2	76,625	12.4	64,955	△ 15.2
商工費	1,124,276	202,421	2,159,463	231,435	228,284	244,404	256,535	255,314	379,228	232,536	261,610	12.5	270,901	3.6	332,280	22.7	710,483	113.8
土木費	4,668,409	3,669,699	3,348,861	2,832,641	2,869,059	3,147,178	2,595,626	2,161,457	2,424,980	2,560,266	2,799,268	9.3	2,881,007	2.9	3,208,881	11.4	3,210,750	0.1
消防費	1,638,085	1,288,258	1,280,101	1,274,330	1,253,789	1,250,939	1,266,693	1,265,516	1,309,480	1,301,850	1,460,707	12.2	1,361,809	△ 6.8	1,339,950	△ 1.6	1,347,431	0.6
教育費	3,724,707	6,953,379	8,007,634	4,878,564	4,931,987	4,079,980	4,054,108	4,011,543	3,601,534	3,556,456	3,808,949	7.1	4,328,006	13.6	4,596,626	6.2	6,447,436	40.3
公債費	2,493,935	2,822,100	2,874,225	2,991,975	3,132,393	3,155,720	3,200,426	3,154,633	2,996,465	2,986,810	2,979,347	△ 0.2	2,995,554	0.5	3,054,658	2.0	3,038,731	△ 0.5
諸支出金	223,402	5,859	3,237	1,983	165	236	208	88	215	28	42	47.5	40	△ 4.8	70	75.0	17	△ 75.7
合 計	27,811,186	33,651,858	37,175,266	34,518,678	35,223,740	35,162,140	35,616,943	36,684,619	38,024,994	39,195,488	40,381,092	3.0	41,683,945	3.2	43,341,690	4.0	61,326,720	41.5

## 資料2 年度別実質収支調（一般会計）

単位：円・%

区 分	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度	元 年 度	2 年 度
予 算 現 額	39,468,402,667	41,002,353,180	41,950,379,742	43,046,912,636	45,709,152,658	63,770,826,336
最 終 予 算 額 (前年度からの継続費及び繰越事業費財 源充当額を除いたもの。)	39,078,111,000	40,416,656,000	41,195,444,000	42,459,809,000	45,150,709,000	62,302,655,000
歳 入 決 算 額 A	39,099,215,932	40,261,213,797	41,515,180,839	43,025,113,347	44,508,570,828	62,340,758,340
収 納 率	99.1	98.2	99.0	99.9	97.4	97.8
歳 出 決 算 額 B	38,024,994,143	39,195,487,917	40,381,092,126	41,683,945,275	43,341,690,299	61,326,720,595
執 行 率	96.3	95.6	96.3	96.8	94.8	96.2
歳入歳出差引額 A-B C	1,074,221,789	1,065,725,880	1,134,088,713	1,341,168,072	1,166,880,529	1,014,037,745
継 続 費 通 次 繰 越 額 D	16,275,800	10,949,742	12,944,596	49,651,658	160,039,336	437,900
繰 越 明 許 費 繰 越 額 E	48,559,380	48,921,200	101,716,040	172,046,000	30,631,000	23,839,000
事 故 繰 越 し 繰 越 額 F		801,000	0	0	4,601,280	1,579,765
実 質 収 支 C-D-E-F	1,009,386,609	1,005,053,938	1,019,428,077	1,119,470,414	971,608,913	988,181,080
実質収支比率（一般会計）	4.4	4.3	4.3	4.6	3.9	3.9

### 資料3 市債現在高の推移

単位：千円

	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末見込
一般会計	30,386,209	29,587,241	28,571,896	28,221,744	28,089,210	26,926,149	26,711,800	26,699,946
(うち臨時財政対策債)	13,864,302	13,715,556	13,350,617	12,828,889	12,023,768	11,034,874	10,020,642	9,946,079
下水道事業会計	2,771,444	3,038,948	3,086,945	3,088,505	3,301,646	3,246,422	3,500,944	4,111,108
水道事業会計	3,931,418	4,235,746	4,566,720	4,807,088	4,851,916	4,888,188	4,797,993	4,915,563
企業会計合計	6,702,862	7,274,694	7,862,846	7,895,593	8,153,562	8,134,610	8,298,937	9,026,671
全会計合計	37,089,071	36,861,935	36,847,674	36,117,337	36,242,772	35,060,759	35,010,737	35,726,617

※令和3年度については令和3年12月末時点での見込みです。



# 財政関係用語集

## ～あ行～

### ○ 維持補修費 (いじほしゅうひ) P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、公共施設を修繕するなど、その効用を維持するために要する経費のこと。

### ○ 依存財源 (いぞんざいげん) P 4、22

国や県からの収入や借り入れによる財源のこと。地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債などが該当する。

《関連：自主財源》

### ○ 一般会計 (いっぱんかいけい) P 2

地方公共団体の基本的な行政運営経費を計上した会計のこと。

《関連：特別会計》

### ○ 一般財源 (いっぱんざいげん) P 26

使い道に制限のない財源で、地方公共団体が自主的にその用途を決定できるもののこと。地方税、地方交付税、地方譲与税などが該当する。

《関連：特定財源》

### ○ 衛生費 (えいせいひ) P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するために要する経費のこと。

## ～か行～

### ○ 貸付金 (かしつけきん) P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、他の地方公共団体や民間団体への貸付に要する経費のこと。

### ○ 議会費 (ぎかいひ) P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、議会の活動のために要する経費のこと。

○ 教育費（きょういくひ） P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うために要する経費のこと。

○ 繰入金（くりいれきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、基金の取り崩しや、他の会計からの繰り出しによって得る収入のこと。

○ 繰越金（くりこしきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、前年度から当該年度へ持ち越された収入のこと。

○ 繰出金（くりだしきん） P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、特別会計などに支出するために要する経費のこと。

○ 経常収支比率（けいじょうしゅうしひりつ） P 17

財政構造の弾力性を示す指標。「毎年収入される市税などの経常一般財源、臨時財政対策債」を、「人件費や扶助費や公債費などの決まった支出」に対してどの程度充てているかの割合で算出される指標のこと。指数が高いほど財政が硬直化し、自由に使えるお金が少ないということになる。

○ 決算（けっさん） P 1～11

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の歳入と歳出の確定した結果を示したもの。

○ 県支出金（けんししゅつきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、県から、市町村が実施する特定の事業に対して交付される収入のこと。

○ 公営企業会計（こうえいきぎょうかいけい） P 2

民間企業と同じように、基本的に事業による収益でまかなわれている会計のこと。朝霞市では水道事業と下水道事業の2つの会計が該当する。

**○ 公債費（こうさいひ） P 6～8、23**

歳出を目的別または性質別に区分したものの一つで、地方債の元金の返済や利子の支払いにかかる経費のこと。

《関連：実質公債費比率、地方債》

**○ 交付金（こうふきん） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、国や都道府県が徴収した税金を一定の基準によって市町村に配分される収入のこと。利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、ゴルフ場利用税交付金などがある。

**○ 国庫支出金（こっこししゅつきん） P 3、4、11、22**

歳入科目の一つで、国から、都道府県や市町村が実施する特定の事業に対して交付される収入のこと。

## ～さ行～

**○ 財産収入（ざいさんしゅうにゅう） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、地方公共団体が保有する財産の運用などで得る収入のこと。

**○ 歳出（さいしゅつ） P 6、11、23**

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の支出のこと。

**○ 歳入（さいにゅう） P 3、11、22**

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の収入のこと。

**○ 財政（ざいせい） P 1**

国や地方公共団体がさまざまな公共施設や公的サービスを提供するために、税金などのお金を集めて管理し、必要なお金を支払っていく活動のこと。

**○ 財政調整基金（ざいせいちょうせいききん） P 13**

想定外の歳入の減少や歳出の増加などに備えて、安定した財政運営を行うために積み立てている基金のこと。

### ○ 財政力指数（ざいせいりょくしすう） P 1 5

市民サービスを行うために必要なお金を自分の力でどれだけ準備できるかを示す指標のこと。通常基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3か年の平均で表し、指数が大きいほど財政力が強いことになる。指数が「1」を超えると、国から普通交付税がもらえなくなる。

**算式**：基準財政収入額÷基準財政需要額＝財政力指数

### ○ 自主財源（じしゅざいげん） P 4、2 2

地方公共団体が自主的に収入している財源のこと。地方税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などが該当する。

《関連：依存財源》

### ○ 実質赤字比率（じっしつあかじひりつ） P 1 8

一般会計の実質赤字額が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標のこと。20パーセント以上で財政再生団体となる。

《関連：標準財政規模、連結実質赤字比率》

### ○ 実質公債費比率（じっしつこうさいひりつ） P 1 9

一般会計が1年間で支払う借金の返済額（公債費）が、標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表すための指標のこと。18パーセントを超えると地方債発行に国の許可が必要となる。また、25パーセント以上で財政健全化団体、35パーセント以上で財政再生団体となる。

《関連：公債費、標準財政規模》

### ○ 実質収支（じっしつしゅうし） P 1 0

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた数値で、その年度の実質的な収支を表している数値のこと。

《関連：実質単年度収支、単年度収支》

### ○ 実質単年度収支（じっしつたんねんどしゅうし） P 1 0

実質的な黒字要素（財政調整基金への積立金や債務を繰り上げて償還した繰上償還金）や赤字要素（積立金取崩し額）が、歳入・歳出に措置されなかった場合、単年度収支がどのようになっていたかを表している数値のこと。

《関連：実質収支、単年度収支》

**○ 社会保障関係経費（しゃかいほしょうかんけいけいひ） P 1、26**

安心して生活していくための「医療」、「年金」、「福祉」、「介護」、「生活保護」などの公的サービスを実施するために必要な経費のこと。

《関連：扶助費、民生費》

**○ 消防費（しょうぼうひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、災害から地域住民の生命と財産を守るために必要な消防設備などの整備に要する経費のこと。

**○ 将来負担比率（しょうらいふたんひりつ） P 20**

一般会計が将来支払うべき借金の返済額（市債残高）などの負担の見込額が、標準財政規模に対してどれくらいあるかを示す指標のこと。市町村については、350パーセント以上で財政健全化団体となる。

《関連：標準財政規模》

**○ 使用料及び手数料（しょうりょうおよびすうりょう） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、使用料は、市民センターや体育館などの公共施設の利用などに係る収入のこと。手数料は、住民票の発行など自治体の提供するサービスの対価として徴収する収入のこと。

**○ 人件費（じんけんひ） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、市長・市職員の給与、市議会議員の報酬などの経費のこと。

**○ 総務費（そうむひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、徴税・戸籍・選挙・統計などに要する経費のこと。

## ～た行～

**○ 単年度収支（たんねんどしゅうし） P 10など**

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた数値のこと。1年間で黒字であったか赤字であったかを表している。

《関連：実質収支、実質単年度収支》

**○ 地方交付税（ちほうこうふぜい） P 3、4、15、22**

歳入科目の一つで、地方公共団体の自主性を損なわずに地方財源の不均衡を調整するために、国税の一部を合理的な基準によって、国から地方公共団体に交付される税のこと。地方の固有財源とされている。

《関連：普通交付税、特別交付税、臨時財政対策債》

**○ 地方債（市債）（ちほうさい（しさい）） P 3、4、12、22**

歳入科目の一つで、道路や学校、保育園など長い期間利用できる公共施設を整備する時などに、地方公共団体が資金調達として行う借り入れる債務のこと。現在の市民と将来の市民の負担を平等にする効果や、年度による出費の偏りをなくす効果などがある。

《関連：公債費》

**○ 地方譲与税（ちほうじょうよぜい） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、国が徴収した税金を一定の基準によって都道府県や市町村に配分される収入のこと。地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、森林環境譲与税などがある。

**○ 積立金（つみたてきん） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、財政調整基金などへの積み立てに要する経費のこと。

**○ 特定財源（とくていざいげん） P 26**

使い道が特定されている財源のこと。国庫支出金、県支出金、地方債などが該当する。

《関連：一般財源》

**○ 特別会計（とくべつかいけい） P 2**

特定の事業における歳入歳出について、一般会計と区別して計上した会計のこと。朝霞市では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の3つの特別会計がある。

《関連：一般会計》

**○ 特別交付税（とくべつこうふぜい） P 16**

普通交付税に反映できない地域ごとの特別な事情や災害などの突発的な状況の時に発生する需要に対して交付される税のこと。

《関連：地方交付税、普通交付税、臨時財政対策債》



**○ 土木費（どぼくひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、道路橋りょうの整備・改良、都市計画などに要する経費のこと。

～な行～

**○ 農林水産業費（のうりんすいさんぎょうひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理などに要する経費のこと。

～は行～

**○ 標準財政規模（ひょうじゅんざいせいきぼ） P 19**

地方公共団体が標準的な状態で収入しうる経常一般財源の規模を示すものこと。各地方公共団体（他の市など）と財政規模を比較する場合などに用いられる。  
《関連：実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率》

**○ 扶助費（ふじょひ） P 8、9**

歳出を性質別に区分したものの一つで、生活保護や児童福祉、障害者福祉などの社会保障に要する経費のこと。

《関連：社会保障関係経費、民生費》

**○ 普通建設事業費（ふつうけんせつじぎょうひ） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、道路、公園、学校などの施設の建設事業など社会資本の整備に要する経費のこと。

**○ 普通交付税（ふつうこうふぜい） P 19**

地方交付税の一つで、合理的・客観的な指標をもとに計算された標準的な行政経費（基準財政需要額）から、標準的な一般財源となる収入（基準財政収入額）を引いた額を交付基準額として国から地方公共団体に交付される税のこと。

《関連：地方交付税、特別交付税、臨時財政対策債》

**○ 物件費（ぶっけんひ） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、施設の光熱水費や消耗品、備品購入費、各種委託料などに要する経費のこと。

○ 分担金及び負担金 (ぶたんきんおよびふたんきん) P 3、4、22

歳入科目の一つで、分担金は、地方公共団体が条例に基づいて課す受益者負担金の一種のこと。負担金は、ある事業について特別の利益関係にある者から、その経費の全部又は一部を受益の程度に応じて徴収する収入のこと。保育園や放課後児童クラブの保育料などがある。

○ 補助費等 (ほじょひとう) P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、各種団体に対する補助金や講師への謝礼などに要する経費のこと。

## ～ま行～

○ 民生費 (みんせいひ) P 6、7、23、25

歳出を目的別に区分したものの一つで、福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するために要する経費のこと。

《関連：社会保障関係経費、扶助費》

## ～や行～

○ 予算 (よさん) P 21～23

会計年度(4月から翌年3月までの期間)1年間の歳入と歳出の予定を示した計画のこと。

## ～ら行～

○ 臨時財政対策債 (りんじざいせいたいさくさい) P 19、33

地方交付税の財源不足に対応するために、基準財政需要額などをもとに算出された額の範囲内で発行することができる地方債のこと。

《関連：地方交付税、普通交付税、特別交付税》

○ 連結実質赤字比率 (れんけつじっしつあかじひりつ) P 18

全会計の実質赤字額(又は資金不足額)が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標のこと。30パーセント以上で財政再生団体となる。

《関連：標準財政規模、実質赤字比率》

○ 労働費 (ろうどうひ) P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、中小企業への融資支援、商工業の振興などに要する経費のこと。



市の財政については、  
ホームページに公表しています。



作成 朝霞市総務部財政課  
〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1丁目1番1号  
TEL 048-463-1111 (代表)  
TEL 048-463-3179 (直通)